



ボランティアニュース

Vol. 187 2019年5月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦與

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com/>

e-mail kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp

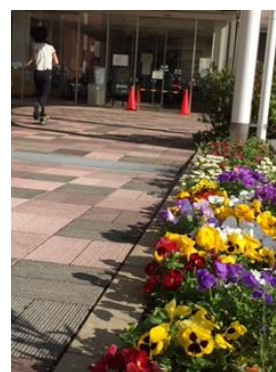
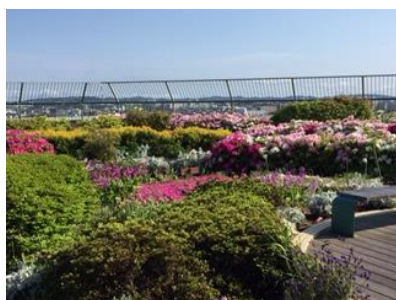
こども医療センターの屋上

令和の新年号が始まりました。

花に由来する「令和」にふさわしく、今屋上は、さつきやマーガレットや芝さくらが満開です。写真ではお伝え出来ないくらいの花が咲いており、バラもつぼみを持っています。

昨年の猛暑や台風で相当ダメージを受けました。しかし、園芸ボランティアの愛情いっぱい活動のおかげで、綺麗に咲きました。球根や苗や土肥料は、「小児医療基金」というこども医療センターへのご寄付の中から頂き、賄っております。

外来の待ち時間や入院中の少しの時間に屋上に足をお運びください。新人職員の方たちにとっても、きっといい場所になると思います。沢山の花が皆さんをお待ちしています。



新しい春を迎えて

吊るし雛グループ 草野 勝美

吊るし雛のグループは年間を通じて、作品の制作や修理、キット作りに取り組んでいます。医療センター内の季節飾りは桃の節句の晴れやかな彩りから、端午の節句をお祝いする飾りに変わり、令和元年の新年度を迎えました。3月は退職。異動になられた、お世話になった職員の方々にオレンジクラブからのお礼の品として飾り雛を贈らせていただきました。記念になれば幸いです。

吊るし雛グループは、入院通院されているお子様や支えるご家族に、センター職員の皆様に、季節の訪れを優しい気持ちでお伝えできるように活動を続けていきたいと思っています。仲間には随時募集中です。

5月のチャリティーバザーにも出店します。ぜひ、おいでください。

「誰かの役に立つ幸せ」

鎌倉女子大学 4年 田中径花

3年前の夏、私はこの病院でボランティアを始めました。外来の入り口前で挨拶をすることから始まり、現在はクリーン病棟にて活動しています。小さなお子さんとおままごとをする日もあれば、大きなお兄さんやお姉さんとお話をする日もあります。多くの患者さんと関わりと発見も多く、毎週それを楽しんでいます。

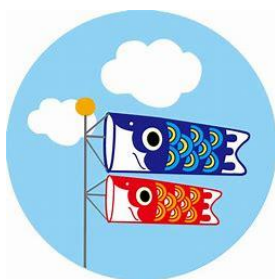
大学4年生ということで就活をしながら活動をしています。よく面接でこのような質問をされます。「なぜボランティアをするんですか」と。「誰かの役に立てることが幸せだからです」と答える私を時に面接官はただのお人好しと見受けるようですが、私は自分の身を犠牲にしてボランティアをしているつもりはありません。誰かの役に立ちつつ私自身も大いに楽しんでいきます。

とはいえ、誰かの役に立つことは簡単ではなく、苦労することも多々あります。どんなに一生懸命行ったことであっても役に立てず、それどころか迷惑になることさえあります。活動当初はうまくいかないことも多く、自分の無力さから何度も挫折そうになりました。それでもこうして活動を続けられる理由は病棟で言われた「また来週も来て！」や外来で言われた「田中さんがいる日にまた来たい」という言葉一つひ

とつに力をもらったからです。そして活動を続けるうちに失敗しても諦めず、とにかく小さな心配りを重ねることが大切なのではないかとある日気づきました。患者さんに伝える言葉一つひとつから心を配ることで大きな優しさとなり、ボランティアとしての価値も生まれているような気がします。

活動を続けられるもう一つの理由として職員のみなさんのご配慮があります。私はクリーン病棟の保育士の松田さんをはじめ多くの看護師の方々にいつも助けていただいています。名前を覚えていただき、声をかけてくださることで、私はこのクリーン病棟の空間になじめるように感じます。そんな環境があるからこそ自分らしく活動ができています。いつも本当にありがとうございます。

活動ができる期間も残り少なくなりましたが、支えてくださる方々に感謝をし、小さな心配りを重ねながら自分らしく活動していきたいと思っています。「誰かの役に立つ幸せ」をこれからも感じる事ができるように。



きょうだいお預かりのワンちゃん



ボランティアさんがきょうだいあずかりに寄付してくださったワンちゃん。娘さんが犬が飼いたかったけれど、飼えなくてお家にやってきたという、とっても愛されたワンちゃんが、きょうだいあずかりに来てくれて、はや半年が過ぎました。預かりのお子さんたちとたくさん一緒に遊んで、ときにはお子さんを乗せてくれて、お腹やおしりがやぶけてしまっていました。そんなワンちゃんを、先日縫製のボランティアさんに『この子にあったお洋服を作っていただけませんか』とお願ひしたところ、なんとということでしょう！お腹の傷もすっかり良くなり、可愛らしいお洋服を着させていたただいて生まれ変わりました。体にピッタリのキャンディの布地に赤いおりボンまでつけてい

ただいて、おしゃれでキュートなワンちゃんに大変身！何よりお目々をつけていただいたことで、人懐っこいチャーミングな表情がでて、お子さんたちのアイドルになっています♪

縫製さんの素晴らしいプロの技術と、優しさたっぷりの愛情に、きょうだいあずかりのスタッフ一同心から感謝でいっぱいです。みなで『すごいかわいくなったねー！』と感激しています。お忙しい中を本当にありがとうございます。

きょうだいあずかり一同

ぼぼんた通信

きくちゃん

4月17日(水)ぼぼんたの活動が終わってから、仲間数人でセンター近くの荒井様ご自宅の牡丹を拝見させて頂きました。荒井さんはオレンジクラブで園芸に所属し活動していらつしやいます。センター近くとは言っても迷路のような住宅街は案内人がいないとたどり着けません。

牡丹のお庭は、赤 白 桃色 赤紫 赤白絞り等色とりどりの豪華な大きな花でいっぱいです。緑色の牡丹は蕾を膨らませていて、明日にも咲きそうです。黄色や橙色紫色もあるそうで、どの花もみたくです。こんなに沢山咲いているのに花の香りは強くなく上品な香りに包まれて良い気分でした。牡丹の株の根元には、濃い紫色のクリスマスローズや赤白のタイ釣り草 八重咲の山吹が春だ春だと咲いていました。

奥さまがお茶を振る舞って下さり感謝です。ご馳走さまでした。

弘明寺への帰り道は歩きながらのおしゃべりに花が咲きました。家族の事 自分の事など話したり聞いたり。ぼぼんたの活動中には見られない仲間の姿を改めて知る機会にもなりました。



《お知らせ》

* 5月13日(月)ボランティア調整会議

14時から第一会議室

* 5月20日(月)チャリティーバザー

10時、14時30分 体育館

* 5月28日(火)ボランティア研修会

13時、16時30分 講堂

「小児がんの子どもとご家族に支援について」

* 6月11日(火)ボランティア運営会議

14時、15時30分 講堂

2019年5月				
月	火	水	木	金
		1	2	3
		/		
6	7	8	9	10
/	アートワーク/5 南	縫製 手作り	ミルクティー/こころ・重心 外来スタッフミーティング	Sホスピタル/4 東
13	14	15	16	17
つるし雑 調整会議	園芸 おもちゃ/外来プレイコー ナー Hクラウン/4 東・クリーン am、4 西総合待合pm	縫製 手芸 Sホスピタル/5 西	ステッカーアート /4 東・4 西・クリ ーン	おもちゃ/5 南 am、5 西 pm
20	21	22	23	24
チャリティーバザー	フラダンス/重心総合待合 こころ		ミルクティー/こころ・重心・総合待 合 作業	Sホスピタル/クリ ーン
27	28	29	30	31
	ボランティア研修会 13:00講堂 園芸			ピアノ演奏 総合待合11:00

毎週月曜 フラワーアレンジメント

- ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう 10:00～10:45
- ・毎週月・水・金曜日 きょうだい預かり 10:30～16:00
- ・毎週火・金曜日 重心作業・月～金曜日 患者図書/外来
- ・毎週水曜日 ぽぽんたAM/PM

その他の活動・チャイルドウィッシュきょうだい預かり毎日曜日 13:30～15:30

- ・ピアサポート 火～金曜日 10:00～15:00

5月20日〈月〉チャリティーバザー

体育館 10:00～14:30